

長崎外国語大学 日本語教員養成課程・実践研修

1. 課程概要

本課程・実践研修は「登録日本語教員養成機関」及び「登録実践研修機関」として文部科学省の認定を受けています。日本語教員養成課程において所定の科目（26 単位以上）を修得した場合、申請により「日本語教員試験（基礎試験・応用試験）」の「基礎試験」が免除されます。

「実践研修」の受講・修了と、「日本語教員試験」の「応用試験」合格をもって、認定日本語教育機関で日本語教育課程を担当するために必要な国家資格「登録日本語教員」として登録されます。

なお、卒業時に「登録日本語教員」の登録を受けるためには、在学中に「応用試験」に合格しておく必要があります。

文部科学省 HP「登録日本語教員の登録等に関すること」

→ https://www.mext.go.jp/a_menu/nihongo_kyoiku/mext_02668.html

2. 履修規定

（1）受講申請

日本語教員養成課程又は実践研修を受ける際は、所定の期間に受講申請が必要です。

（2）実践研修受講資格

実践研修を受講するためには、以下のいずれかの要件を満たす必要があります。

- ・受けようとする実践研修が開始される日以前に行われた「日本語教員試験（基礎試験）」合格
- ・登録日本語教員養成機関における日本語教員養成課程修了

（3）手数料

受講希望者は次の手数料の納入が必要です。

	費目	金額
日本語教員養成課程	養成課程登録料	10,000 円
	養成課程受講料	400,000 円
実践研修	実践研修登録料	5,000 円
	実践研修受講料	50,000 円
	実践研修教材費	10,000 円

なお、長崎外国語大学在学生は、各受講料の納入は不要ですが、養成課程登録料、実践研修登録料、実践研修教材費の納入は必要です。在学生は履修登録訂正期間終了時まで手数料を納入してください。

(4) 必修科目, 選択必修科目

後掲の「3. 日本語教員養成課程・実践研修必修科目, 選択必修科目」を参照してください。

(5) 必要単位数

■日本語教員養成課程

必修 10 科目 20 単位に加え, 選択必修 3 科目 6 単位以上, 合計 26 単位以上を修得する必要があります。

■実践研修

必修 2 科目 4 単位を修得する必要があります。

(6) 修了要件

日本語教員養成課程・実践研修を修了するためには, 次の 3 つの審査を受け, 全てに合格することが求められます。

1) 科目修了審査 (科目の修了審査により合格者には当該科目の単位を付与する):

- ①授業すべてに出席していること
- ②各科目の評価結果が評点 60 点以上 (「可」以上) であること

2) 日本語教員養成課程最終修了審査:

- ①必修科目 20 単位及び選択必修科目 6 単位以上を修得していること
- ②GPA の値が一定以上であること

3) 実践研修最終修了審査:

- ①必修科目 4 単位を修得していること
- ②GPA の値が一定以上であること

各最終修了審査の結果, 修了が認められた受講者には「修了証書」が交付されます。

「養成課程修了証書」交付要件: 1) 合格及び 2) 合格

「実践研修修了証書」交付要件: 1) 合格及び 3) 合格

3. 日本語教員養成課程・実践研修必修科目、選択必修科目

課程を修了するためには、日本語教員養成課程・必修科目（10科目 20単位）、日本語教員養成課程・選択必修科目（3科目 6単位以上）、実践研修必修科目（2科目 4単位）を修得する必要があります。

種別		配当年次	開講科目名	単位数
日本語教員養成課程	必修科目	1・2・3・4	日本語教育概論	2
			日本語学概論	2
		2・3・4	日本語文法Ⅰ	2
			日本語の音韻・音声	2
			日本語文法Ⅱ	2
			第二言語習得論	2
		3・4	日本語教授法Ⅰ	2
			社会言語学	2
			日本語教授法Ⅱ	2
			異文化間教育	2
	選択必修科目※ ¹	1・2・3・4	言語学Ⅰ	2
			言語学Ⅱ	2
			文化人類学Ⅰ	2
			文化人類学Ⅱ	2
		2・3・4	異文化間コミュニケーションⅠ	2
			異文化間コミュニケーションⅡ	2
実践研修	必修科目	4	日本語教育実習Ⅰ※ ²	2
			日本語教育実習Ⅱ※ ²	2

※¹ 選択必修科目は6科目から3科目6単位以上修得することが修了要件です。

※² 日本語教育実習Ⅰ・日本語教育実習Ⅱは、同一曜日の連続した2時限で開講されますが、時間割上の開講時限以外に授業観察（4回）、自身の教壇実習（45分×2回）、他の受講生の教壇実習（回数は受講者数による）などへの参加が必須です。

4. 日本語教員養成課程・実践研修履修スケジュール

標準的な履修スケジュールは日本語教員養成課程・実践研修を3年半で修了するコースです。以下にモデル履修スケジュールを示します。一度に履修する科目を多くすると最短1年半で修了は可能ですが、修得の順序性、効果的な学修の観点からは3年半の標準コースをお勧めします。

なお、開講学期は状況に応じて変更されることがあります。

① 3 年半コース（標準）

対象	年次	学期	科目名（必修科目）
日本語教員養成課程	1 年目	春学期	日本語教育概論
		秋学期	日本語学概論
	2 年目	春学期	日本語文法Ⅰ 日本語の音韻・音声
		秋学期	日本語文法Ⅱ 第二言語習得論
	3 年目	春学期	日本語教授法Ⅰ 社会言語学
		秋学期	日本語教授法Ⅱ 異文化間教育
実践研修	4 年目	春／秋	日本語教育実習Ⅰ 日本語教育実習Ⅱ

② 2 年半コース

対象	年次	学期	科目名（必修科目）
日本語教員養成課程	1 年目	春学期	日本語教育概論 日本語文法Ⅰ 日本語の音韻・音声
		秋学期	日本語学概論 日本語文法Ⅱ 第二言語習得論
	2 年目	春学期	日本語教授法Ⅰ 社会言語学
		秋学期	日本語教授法Ⅱ 異文化間教育
実践研修	3 年目	春／秋	日本語教育実習Ⅰ 日本語教育実習Ⅱ

③ 1 年半コース

対象	年次	学期	科目名（必修科目）
日本語教員養成課程	1 年目	春学期	日本語教育概論 日本語文法Ⅰ 日本語の音韻・音声 日本語教授法Ⅰ 社会言語学
		秋学期	日本語学概論 日本語文法Ⅱ 第二言語習得論 日本語教授法Ⅱ 異文化間教育
実践研修	2 年目	春／秋	日本語教育実習Ⅰ 日本語教育実習Ⅱ

※①～③いずれの場合も上記日本語教員養成課程必修科目（10 科目 20 単位）に加えて、実践研修受講前に選択必修科目（言語学Ⅰ，言語学Ⅱ，文化人類学Ⅰ，文化人類学Ⅱ，異文化間コミュニケーションⅠ，異文化間コミュニケーションⅡ）6 科目から 3 科目 6 単位以上 を修得しておく必要があります。